

党 5 中全会のテーマ

田中 修

9月28日に開催された党中央政治局会議は、5中全会の日程を10月15 - 18日と定めると同時に、第12次5ヵ年計画建議案を検討・決定した。本稿では、その内容を紹介する。

現在及び今後一時期は、小康社会を全面的に建設するカギとなる時期であり、改革開放を深化させ、経済発展方式の転換を加速する堅塁攻略の時期となる。国際国内情勢を総合的に判断すると、わが国の発展は大いに力を発揮できる重要な戦略的チャンスの時期にある。得がたい歴史的チャンスに直面するとともに、予見可能なあるいは予見し難い多くのリスクの試練に直面している。

第12次5ヵ年計画の制定に際しては、中国の特色ある社会主義の偉大な旗印を高く掲げ、鄧小平理論及び「3つの代表」重要思想を導きとし、科学的発展観を深く貫徹実施しなければならない。内外情勢に新たな変化に適応し、更に良い生活を過ごすという各民族人民の新たな期待に順応し、科学的発展を推進し、経済発展方式の転換を加速しなければならない。改革開放を深化させ、民生を保障・改善し、国際金融危機の衝撃への対応の成果を強固に拡大し、経済の長期にわたる平穩で比較的速い発展と社会の調和のとれた安定を促進しなければならない。これらは、小康社会を全面的に建設するうえで、決定的な意義を有する基礎を打ち固めるものである。

科学的発展を堅持しなければならない。

人間本位を更に重視し、全面的協動的で持続可能発展を更に重視し、各方面を併せ配慮し統一的に企画することを更に重視し、民生の保障・改善を更に重視し、社会の公平正義を促進しなければならない。

経済発展方式の転換加速を、経済社会発展の全プロセス・各分野で貫徹しなければならない。

発展の全面性・協調性・持続可能性を高め、発展のなかで転換を促進し、転換のなかで発展を図ることを堅持し、経済社会の良好で速い発展を実現しなければならない。

経済構造の戦略的調整を、経済発展方式の転換加速の主たる攻め口とすることを堅持しなければならない。

科学技術の進歩とイノベーションを経済発展方式の転換加速の重要な支えとすることを堅持し、民生の保障・改善を経済発展方式の転換加速の根本的な出発点・足掛かりとすることを堅持し、資源節約型・環境にやさしい社会の建設を経済発展方式の転換加速の重要な力点とすることを堅持し、改革開放を経済発展方式の転換加速の強大な動力とすることを堅持しなければならない。

全党同志は、チャンスと憂患の意識を強め、発展のルールを科学的に把握し、環境の変

化に積極的に適応し、各種矛盾を有効に除去し、わが国の改革開放と社会主義現代化を更に奮発し立派に推進することにより、わが国の経済発展方式の転換に実質的な進展を得て、総合国力・国際競争力・リスク防御能力を顕著に引き上げ、人民の物質的・文化的生活を明らかに改善し、小康社会の全面的建設の基礎を更に牢固にしなければならない。

(10月6日記)